寫眞週報

情報局編輯
六月十六日第二百七十六號・十セン

斷じて仇を討たん

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時の立札

戰局はいよいよ苛烈である

ガダルカナル　アッツ

敵反攻の鋭鋒いづこを狙ふとも

われに不動の戰略態勢あり

ガダルカナル　アッツ

玉碎せる殉國の雄魂に酬いんと

悲憤心魂に徹し

我等一億いま戰線にあり

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

山本元帥の國葬

一億國民が、限りなき痛憤と深き哀悼の裡に、故山本元帥の國葬は、畏くも勅使ならびに御使の御差遣、各宮殿下の御拜禮、御代拜を仰ぎ、六月五日、深緑薫る日比谷斎場において厳かに執り行はれた

世界を震撼させ、敵米英を畏怖せしめた元帥の偉勲を偲ぶとき、その御靈を送り奉るわれら一億の感慨は、惻々として迫りくる悲憤の念と、それを乘り越えた敵撃滅の固き復仇の誓ひとともに一人感動たるものを覺えた

されど、盡きぬ名殘りのうちに元帥海軍大將正三位大勲位功一級山本五十六墓のしるべは、南海の潮騒に似た松風そよぐところ、多磨の一角に太く高くたてられ、死してなほわれらと共にある元帥の英靈は太平洋の守護神として永へに神鎮まつたのである

⇧
悲然、霊車日比谷の斎場に入る

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アッツ島に玉碎す

昭和十八年五月二十九日
遂にアッツ島守備隊全將兵は玉碎した

敵大軍アッツ島上陸の報を知るや、われら國民のひたすらに祈り、ひたすらに待つたものは、涙とともに聞いたあの悲報だつたであらうか。だが、つひに悲報は天を衝んでわれらの耳に達した

「他に策なきにあらざるも萬一を僥倖し、武人の名を汚すべきにあらずと覺悟し、部下一同も莞爾として俱に死に進く」と

絶海の孤島に敵二万餘の大軍を迎へうち、血戰二旬、優に六千に餘る損害を與へつゝも、部隊また二千數百名中のこるもの僅かに百數十名、こゝに山崎部隊長以下全將兵はこぞりて死につかんことを決意し、二十九日夜暗を期し、敵主力集團を求めてこれに突入、大銃槍を下すとともに全員は玉碎し果てたのであつた。これに魅けて、行を俱にし得ざる傷みつける將士は、悉くわれとわが命を斷つて血の"餞"となし、魂魄戰友と俱に敵陣深く突入したのであつた。その戰闘の凄絶さ、その闘魂の燃烈さ、眞に鬼神もまたさけざるを得なかつたものがあつたことは、察するに難くないのである

嘗てとした一語を最後に、アッツ島の電信所は呼べどつひに應へることなく、永久の沈默に歸つた。だが、われら國民の耳に今もなほ聞えるではないか、あの勇士等の雄叫びが、――一兵の增援を求めることなく、また『小官最存する限り貴方面何卒御安心願ひ度』云々の便りを最後に寄せた山崎部隊長を中心とした將兵の清々たる自信と、鉄石の闘魂をもつて戰ひ抜き、つひに悠久の大義に生きた無比の皇軍精神。これに應へるものは誰だ。この勇士に續くものは誰だ。この勇士の盡忠無比の生命を不滅のものとするのは誰だ

われら一億、今こそ戰ひの生活に徹し、この勇士の屍を越えて、敵米英に總突擊を敢行しよう

大本營發表（五月三十日十七時）

一、『アッツ』島守備部隊は五月十二日以來、極めて困難なる狀況下に寡兵よく優勢なる敵に對し血戰敢闘中の處、五月二十九日夜、敵主力部隊に對し最後の銃槍を下し皇軍の神髓を發揮せんと決意し、全力を擧げて壯烈なる攻擊を敢行せり。爾後、通信全く杜絶、全員玉碎せるものと認む。傷病者にして攻擊に參加し得ざるものは之に先だち悉く自決せり。我が守備部隊は二千數百にして、部隊長は陸軍大佐山崎保代なり。敵は特殊優秀裝備の約二万にして、五月二十八日までに與へたる損傷六千を下らず

一、『キスカ』島はこれを確保しあり

山崎保代陸軍大佐

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一億われら英魂に應へん

情報局總裁　天羽　英二

今や内外の情勢は洵に重大である。皇國の隆替はこの大戰にかゝり、戰爭の完遂は現下我々の努力による。政府はこの時局に對處して、決戰體制を一段と强化しつゝある。一億國民は、各々の職域において、自らの責任において、米英降伏のため、名を捨て、身を捨て、一切を捧げて戰力の增强に挺身せねばならぬ。今は徒らに兎や角言つてゐる時ではない。たゞ戰爭に勝ち拔くための實行あるのみである

宣戰の大詔の奉戴實踐に邁進し、御信倚に應へ奉るあるのみである

農家　小池　英さん（五八）
茨城縣鉾田町

戰爭だもん、手が足りねえのはあたりまいだんべ。……うんだども。腹へつてはいくさになんねえがんな……おら百姓だから、いくつになつたつて野良へ出つさ、若いものには戰地で一生懸命やつてもらふべ……

四十八瀬丸（漁船）船長　高野　政吉さん（四六）
千葉縣勝浦町

報道のあつた晩、いんちやけて、いんちやけて（口惜しい）ねむらんなかつた。おいら、なんつつたつて、さかなとんねつか御奉公になんねえだから。潛水艦なんか出たら海望鏡ぶつつぶしてやつべ……

⇧倉庫增設は漁民皆働で
やり拔かう　宮城縣古川町郊外にて

砂糖卸商（傷痍軍人）
宍戸市太郎さん（三一）
宮城縣古川町

商報の勤勞奉仕でよ。負傷でよか、中支でよ。右手が一寸不自由なんでよが、田植のお手傳ひぐらゐできまよヨ。みんな本仕だなんて氣持はありません。そうなきゃみんれない氣持でよ

女子青年學校生徒
藤本千登美さん（一七）
宮城縣古川町

ほんとに、くやさいね、まんなくやさいこと、なかんべつけや……千登美さんもその友達も、この民士はどうしても語つてくれなかつた。たゞ、どうせ植をつゞけるだけ。さうだ、全國民ほんたうに口惜しいんだ

大日本婦人會員
菅野　花代さん（五一）
宮城縣古川町

そう手傳ひさしてもらつてんまよ。少しでもお役に立てば、ほんたうに喜んでゐまよ。わたしら出來ることだら何んでもさしてもらひまよ。何んでもやりまよ。田植は辛かいんでせうが、一生懸命やかれば……

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

われら一億 英魂に應へん

事務部長　中村　豊さん（四二）
大山機械株式會社

あの慌せがあつた時、全山出撃といふか、何んといふか。やらう、あの氣持。もう理窟をいつてゐる時ぢやない。みんな分り切つてゐるん。勿論、とき〳〵方向を與へてゐる者はあります。ちとは實戦、一丸となつて頑張り抜くんだ

鋳鋼專門工場長　安藤　利雄さん（三二）
鋼鳥機械株式會社

勤務員は私以下五十名です。一ケ月頑張ります。辛い、とんでもない。みんな、あたりまへなこつと思つてゐます。なかには、商賣がへして遠ちらといつてこんのもゐます。炭鑛は嫌とは違つて實に働きよいところです

採炭夫　遠藤　久吉さん（五三）
大山機械株式會社

勤續三十年、もうそろ〳〵止めろ、なんていふ奴もゐる、こんな時期に。三十年怪我一つせずにやつてきた。まだまだやれる。經驗が物をいふ。十五本かゝる鑛石を十二本で間に合せるとか、若いものには負けない

機械工　奥田　吉男さん（二二）

九州の炭鑛から命懸の覚悟で富山に來ました。工場は焼夷弾の雨の中を、ときどき、たゞ今、宮城を拝めたんで、思ひ殘すことはありません。さう思ふと、とゝにかうして立つてゐることさへ、もどかしくなります。一日も早く生産の値がふりたい

おち　ヨシさん（七五）
富山市鹿島町

孫の結婚式に、明日から出て來ました。式が終つた後、前線からつゞいて、ときどきは北の出來事を放送で聞き、ひとりぼつちで、家に歸りました。遊山など、夢にも考へたことはありません。もう、今日は舎へ歸ります

鍛工　静山・政雄さん（二一）
富山市鹿島町

あたしも軍需にあゝ身です。工務長の朝礼のお話は聞くまでもなく、くやしくてなんなかつた。毎日出でるたゞわれわれ社員は日本人だ。その基礎てえいひますか、さういつたものはあたゝ土の海にある。ちょつと話も今年の計畫ですやなア

防空隊長　丸谷　新吉さん（三一）
東京市豊島區

資戦即應の用意あるのみです。投下爆彈の現ポが家の前だつたり、四ッ辻であなどは嫌です。それが三階の居間であり、身を寄りして入れる場地に、投打す的にやらねばならない。この意氣でやりませう

業務課長　伊賀　秀雄さん（四五）
東京電氣株式會社

電力は現在のところ豊富だ。だからといつて一般家庭で浪費は出來ない。米英を撃つための軍需品を、この電力で造らねばならない。冬季の電力減から來る生産力の減退を、いま深夜の夜業を兼ねても補ふことが大切なことである

无洋服商　高橋　藤吉さん（四八）
東京市目黒

こん苦生、と思はれましたね。役員でございと、腕章を卷いて威張つてゐる時ぢやありませんや。自分が直先立つて轉業しなきゃ駄目だ、と軍需品のミシン下請工場に轉じましたよ。人つためぢやない。この踏切りが大切なんだ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

われら一億 英魂に應へん

町内会長　鈴木源治郎さん（五九）

一億一丸で、これには先ず一町一丸、家族丸だ。ウチウチの結束をもつて、今こそいさぎよく、一切の虚飾を捨て、全に、職域を通じて米英への大の上の鐵拳をお見舞すべきときです。

主婦　眞鍋　常枝さん（四六）

今日ほど、国土防衛の戦士として、主婦の責任の重大なときはないと思ひます。お国のお役に立ちたいばかりに、市役所へ、ゆきまして、何んでもさいようにと使うてくれいと頼み込んだが、市役所の雑役夫にはなるといやはりきた。

主婦　上田　くにさん（四一）

由未だ帰らぬ戦死者、古今に類のない大切な戦争であるといふこと、一小市民たる限りは、いふ山崎組長の旧盛な責任感に心底打たれた。この感激を実行に移すならば、『兄弟の鍛力を練る』ことを第一とする。

警防團長　佐々木久孫さん（四二）

私らかて国土防衛の戦士です。隊長を先頭に、空襲は必ずやさかい、しつかり頼みます、と最後に一言、激励かけたら、みんなとつかりやるで、と言うてくれたときは、ほんまにうれしかった。

主婦の唯一の務めは家の中をこつかり治めることです。ご奉公の間は別として、日用品の買は一家の主婦が戦争生活に慣れてこない苦でよ。アッツ島で玉砕した勇士の御はかりの生活には全く泣けました。

胸が一杯で何んにもよういへまへんでした。女でもじいつとしてはをれまへん。きらいこのかや、と子供たちに聞かせましたが、『きつと仇をとつて上げること、母さん』といつてくれたときは子供に教へられた気がしました。

鉄道局務者　田端榮太郎さん（五二）

わしらは、交叉をいつてんを暇なんかないよ。ほい来たほい来た、と大事な荷が次ぎから次ぎに降つてきてな。まら、これや来だ。お見、頑張ろうぜやないか。足腰が力つこる間は、荷役は引受ける。

鉄道局運輸課長　三尋木銀治郎さん（五三）

アッツの敗戦があつた直後でさへ、この驛の乗客の中には、途中下車の制限があるのに、無理をして許可してくれといふ者や、真だしいのは、陸軍病院にゐる知人を見舞ひたいから、と用紙目をいつて途中下車をしようといふ不都合な者までがゐる。また、博多や大阪行などの切符を捨ててまで下車するやうな客が一日に、多い時は百五、六十名もある。なほ一層の自覚が絶対必要なわけだ。

私部隊勤務　平田林藏さん（五五）

私たちも戦線にゐる兵隊と同様に、『よし貨車を相手に戦ひ抜いてゐます』と自分たちの不注意から、輸送船が撃沈されたりといふことを考へると、ぞつとします。もう自分たちの不注意から、輸送船が撃沈されたりといふことを考へると、ぞつとします。一刻を争つて前線に送られる兵器や食糧を、生命にかけてもきふからは、寸つとめだ。押した〳〵

早稲田大学生　小鞠　治さん（二二）

二月が血みどろな戦争の本番だと感じた。ペンを銃に持ち換へて、祖国の決戦に立つ秋が来た。われ〳〵はいはゆる『学校教練』を力なぐり捨てて、銃剣の突撃を敢はねばならぬ。躊躇なく敵を突き刺すこと、ぶつかりの絶対だ。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

⇦これで敵をやっつけるのだ、直接敵をやっつける兵器をつくれるといふのは何たる光榮だらう、決して前線には負けないぞ

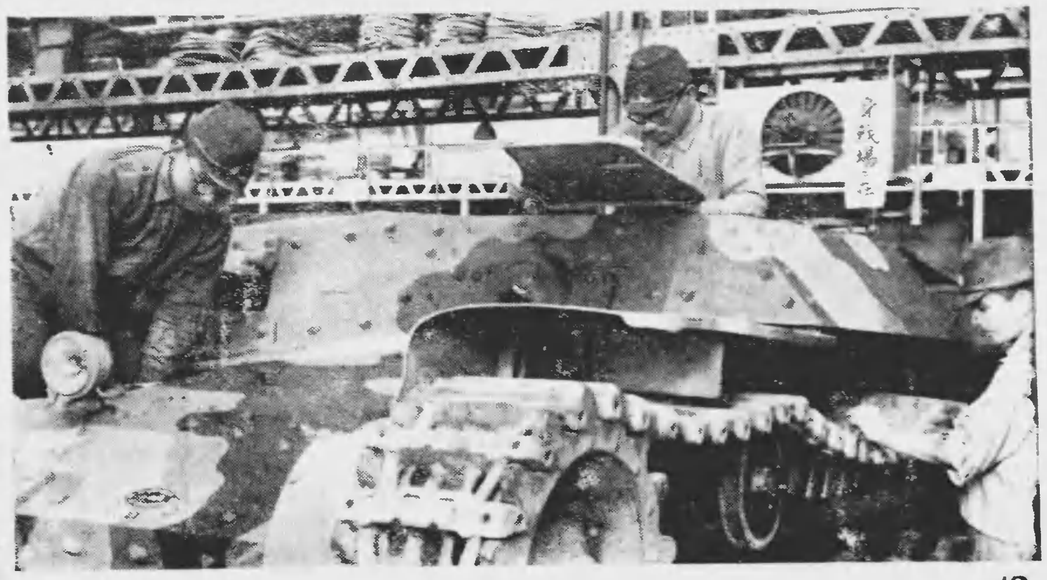
われら十萬英魂に應へん

生産戰にもきっと勝つぞ

（製作所仕上工長　高林　博登さんこと　野口　松一さんの話）

私どもは今度「一の米英撃滅に突進せんとする決戰」の戰場に立ちました。神は各職場に神宿り上ってみます。第一線で中軍機械と生死を共にする工場は、中軍機械と一緒に撃ちまくって、この戰場を守ります。

元帥は『身戰場ニ在リ』と仰せられ、遂に戰死されましたが、銃後にあるわれわれが使ふには少し個過ぎるなどと思ったが、特に今度の戰場の標語として、その精神が十分よくてに浸透してゐると申すことが出来ます。その何よりも、逆襲、夜間の暗夜組立をやってみたところ、まの部品數千点からなる精密度の高いものを、日中現上の「組」で組立てたのでした。身兵器工場に在るかぎりは、一言半句の不平をいふべきではない。これが私共の實踐してゐるところで、あの發表以來、平時より三十分の早出で仕事をしてゐます



⇨兵器を造る戰場だ。その日〳〵が『身戰場ニ在リ』の實踐だ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

われらー億英魂に應へんと

貯蓄は銃後の義務だ

不可能と思はれることを可能にすることが戦争に勝つ秘訣です。今年の貯蓄目標額は二百七十億圓です。一日に一百七十億といふが、この數字はべら棒に大きなものです。よくいはれる例ですが、神武天皇が御即位されてから、毎日一圓つゝ使つたとしても、今まで一千九百三年の間に一億圓は使ひきれません。その一億圓の正に一百七十倍です。

一體、そんな大な額の貯蓄ができるだらうか。この答へは昨年立派に果しました。しかも、その昨年に比べても、今年はなほ四十億圓の増加です。なかなか生やさしいことではありません。だが、不可能ではない。これを不可能視したり、敵愾心をいつては戦争に負けることです。断然貯め抜かねばなりません。もはや貯蓄は奨励ではなく、義務です。

君、この義務をわれ〳〵は果たしたなれば、前線の將兵に弓を引く裏切者の汚名を蒙たければなりません。第一線で戦死された山本元帥や、アッツに玉砕した勇士の英霊に應へるために、われ〳〵は断然と貯蓄に邁進しませう。

⇧アッツの憤激は爆發し、東京品川區の大日本婦人會支部の幹部は、アッツの皇軍勇士に續き、増額貯蓄の即時實行を申し合せ、下右

⇧大日本婦人會は、繊維東久邇宮妃殿下の台臨を仰いで、五月三十一日、東京日比谷公會堂で、銃後女性の決意を固める『新決戦婦人大會』を開催した

品川區の各戸に撒布した貯蓄の實踐ぶりは、飯田さんの宅においても實行されてゐる。けふのよい豪所から出た貯蓄額は金三十錢

⇩區内の婦人達で結成された女子勤労挺身隊は十日交代で軍需工場に働き、得た報酬の半額は貯蓄に、半額は國防獻金にしてゐる

増額貯蓄の實行を申し合せた幹部たちは即日推進員となり、軒並みに増額の運動を開始した

⇩大阪市阿倍野岡昭和町五丁目町會は緊急常會を開き、荒木さんの提案で元帥の遺勲を偲ぶ『五十六錢貯金』を滿場一致で可決し、一口五十六錢、口數は自由で早速はじめられ、他なほ別たうの決意を實行に移した

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

皆んなで芋を作らう

茨城縣内原中央育苗圃

『東京で一軒百貫は甘藷を作るやうにして貰はなければ……』

と、内原訓練所長加藤寛治氏は意氣込んでゐる。食糧増産に農村が必死の時、都會に住む私達が半坪の空地でも剩さず利用して、農村の負擔を輕くすることは義務だ。去年は豐作だつた上に外米があつた。今年はその外米を運んだ船が、戰爭になくてならぬ物資を運んでゐるのだ。米が足りないと不平を洩らすことは、軍需物資を引おろして外米を送れと求めることだ。私達は一寸の荒蕪地も耕さう。武器を送るために、戰爭に勝つために、食糧は自分たちで作らう

元來、甘藷は苗七分作といはれる位で、苗の良否で收穫が七分まで決まる。今度東京へ送られて來た『飯塚』は、内原が苦心の結晶だけあつて、日當りのよい所なら丸々とした藷が一坪三貫匁ぐらゐ收穫でき、しかも栽培しやすい優秀な苗である

甘藷は濕つた土地でない限り、大體どんな土地でも栽培出來るが、排水がよく、日當りがよく、風通しがよい、と三拍子揃つた土地ならうつてつけである

畝を作る前　枯草、葉、繩、藁、ゴミ等を腐らせて作つた堆肥を坪當り一貫匁と、灰百匁を土とまぜ合はせておくと、肥料の代りになるが、これは苗を植付ける一ケ月前にしておかないと、葉等が地中の窒素を吸つて藷の成長を妨げる

畝幅はごく排水のよい所で三尺、その他の所では四尺にし、その高さは乾燥した土地なら一尺二寸、濕つた土地で一尺五寸位にして先を滿鉢型にする。二尺幅の畝では增産は望めない。思ひ切つて畝を高く大きくせねばならぬ

根のない苗を植付けるのだから、晴れた日の朝や日中、風の強い日は避ける。天氣相手で、思ふ通りにゆかないが、風のない曇つた日の夕方が一番よい。苗が配給された時は切られてから二、三日經つてゐるから、成るべく早く植付けた方がよい

植付けるのには、先づ畝の頂きに一寸位の深さの溝をつくり、その中へ苗を水平にし、根方を少し下にむけ、芽先二、三寸だけを土から出したまゝ柵かく碎いた土を輕くかける。苗についてゐる葉は必ず一枚々々地上に出しておく。親葉一枚を失へば藷百匁を失ふことになるから、葉は大切にせねばならぬ。ひどく乾燥した土地に植付けねばならないときは、溝を二寸位に深く掘り、葉だけを出して土をかぶせ、後日活着してから前のやうに植ゑ直す

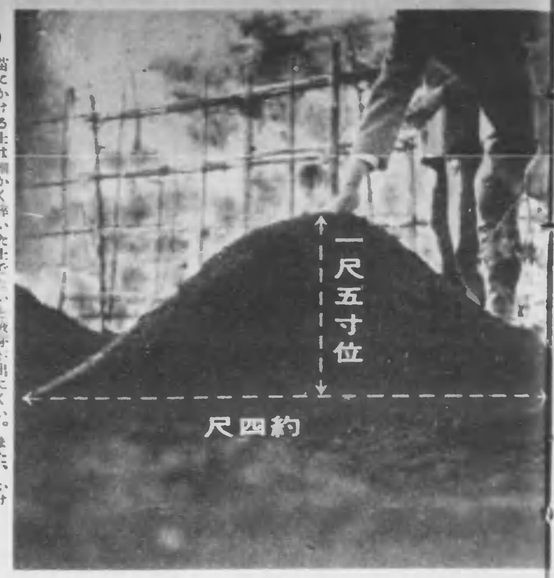
苗と苗との間は、一尺あけて一坪に四、五本植ゑる。植付けた時はしをれてゐても、二、三日すれば葉が起き、ピンと張り活着する。植付け後、日照が續いたら日光が葉に直射しないやうに芝草、新聞紙等で蔽ひをし、水をやる場合にも葉に水をかけないやうにする。苗が活着したら、この蔽ひはとる

植付の時　芽先をごく僅か指先でつまみ、最少限に切つて摘芯するが、一寸も二寸も切つてはならない。摘芯で刺戟されて二、三週間後に芽先の芽が三、四寸に伸びて來るから、再び摘芯する。摘芯しないでおくと芽先二、三本の葉だけが急に五、六尺も伸びて、他の腋芽が發育しなくなり、葉ばかり大きくなる。また腋芽がすつかり出ても、それは不揃ひだから、そのうち大きいのを摘芯して揃へ、平均して藷を發育させれば申分ない

都市でこれまで蔬菜を作つてゐたやうな畠は、甘藷を作るには土地が肥えすぎてゐる位だから、糞尿などの肥料はやらないで、秋の收穫を待つ方がよい

どんな荒地でも、併して甘藷を植ゑよう、半坪の空地でもお役に立てる時なのだ

畝幅は四尺とし、畝の高さは一尺五寸位にし頂きを滿鉢型にする。この畝の中で藷が大きくなるのだから、思ひきつて大きくした方がよい



苗にかけろ土は細かく碎いた土でないと腋芽が出にくい。また、おけ土をふんだり、おしつけたりしてはならぬ

畝の頂きに一寸の溝を掘り、その中へ苗を水平にして、芽先二、三寸だけは上から出して、土を輕くかける。葉は必ず一枚々々土から出す

世界最大の甘藷苗床から、帝都に送る二百万本の苗を切りとるのに、内原では日本國民高等學校生徒を總動員して大變だ

『飯塚』は七、八寸から一尺足當の苗で、葉が七本以上ついてゐる

畝の間は一尺位おく。つまり、一坪に長い苗なら四本、短い苗なら九本植ゑられる。この時、葉がしをれてゐても二、三日で生々して來る

内原では、一坪で十九貫も獲れたといふ。さあ、今年の秋は樂しみだ。わが家ではどれ位獲れるかな

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

馬耕講習會
長野縣 三橋 雅次

男にまけず私達も増産に邁進しませう、と諏訪郡富士見村女子青年團では、馬耕の講習會を開いて、馬具の付け方扱ひ方から、實地指導を受けた。一生懸命に習つたので、皆今ではもう一人前に馬耕が出來るのだ

女學生が勤勞奉仕
宮城縣 一瀬 次郎

増産の新らしい決意も逞しく、農家はいま猫の手も借りたいほどの農繁期に入つてゐるが、食糧増産、國民皆働の聲に應へた宮城縣古川町農業女學校の生徒たちは、本石米で名高い東大崎村に泊りこみの勤勞奉仕を積け、田植から共同炊事、または託兒所などで地元の人も驚くほどの協力ぶりをみせてゐる

寫眞週報

★表紙

折谷助次君は三實から靜かに土器をとり、神官は神酒を注いだ。彼はこれをおし戴きつゝ一呼、全體を以て神に祈り、神に誓つた——征つて參ります——

アッツ島の悲報が全國民の胸を刺したあの日あのとき、既に染えあるお召しをうけてゐた折谷君は、ラジオの前で唇を噛みしめ悲憤に哭いたのだつた

——俺は必ずこの仇を討つぞ、討たでおくものか——折谷君は壯行式の今、神の御前に更めて誓ふのだつた

海軍關係寫眞の複寫複製は海軍省承認濟（第五二四二號）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

内閣印刷局刊行物の普及機關について

・報週の行發局刷印閣内
寫眞週報その他の官廳編

・書店の寄最ほな　すまりをてせら常に及普し設置を所賣販報官に域地要重にび並縣府各國全は書圖纂
新開店・賣販店等でも取扱つてをりますから御利用下さい　（内閣印刷局）

都道府県名	普及區域	所在地	電話	振替口座
札幌	北海道	札幌市北一條西一ノ三	小樽 一三九九番	一三七九五
青森	青森縣	青森市米町一一九	仙台 二二三〇	仙台 六二七五
盛岡	岩手縣	盛岡市肴町七六	仙台 二二三〇	仙台 二八八二
仙臺	宮城縣	仙臺市東三番丁一八	仙台 九六八	仙台 九四七番
秋田	秋田縣	秋田市大町二ノ一七	秋田 二二五	仙台 六〇〇五
山形	山形縣	山形市七日町五一六	山形 二二	東京 三四二七
福島	福島縣	福島市大町五六	福島 二二	郡山 二四九
水戸	茨城縣	水戸市泉町一〇三三	水戸 七四八	東京 五四四一
宇都宮	栃木縣	宇都宮市錦町三三三	宇都宮 三三四五	東京 七八九五三
前橋	群馬縣	前橋市曲輪町二	前橋 四〇三	東京 一三四三四〇
浦和	埼玉縣	浦和市仲町一ノ四三	浦和 二二二	東京 二五七六五
千葉	千葉縣	千葉市通町六六	千葉 三四八	東京 七三五二四
東京	東京府	東京市神田區錦町一ノ二	神田 四六六七	東京 一七四四三四
横濱	神奈川縣	横濱市中區野毛町一ノ一四	長者町 四二二	東京 九七一七五
新潟	新潟縣	新潟市西堀前町六番町九〇九	新潟 三三〇	長野 三一〇九
富山	富山縣	富山市總曲輪四五四	富山 二二四〇	金澤 一九五六六
金澤	石川縣	金澤市片町五六ノ二	金澤 二二一	金澤
福井	福井縣	福井市佐佳枝中町五二	福井 二二一	金澤 七八九五三
甲府	山梨縣	甲府市總町九六	甲府 二四六、二四八	長野 三三二一八
長野	長野縣	長野市大門町三八	長野 二二四	長野 二二四
岐阜	岐阜縣	岐阜市七軒町二四	岐阜 二三六七	名古屋 二三六五一
靜岡	靜岡縣	靜岡市追手町二三三	靜岡 二二六	東京 二二三七
名古屋	愛知縣	名古屋市西區下長者町四ノ九	名古屋 一三六、一四六	名古屋 一三五二〇
津	三重縣	津市西町一二六一	津 二六二	東京 一三一四九
大津	滋賀縣	大津市丸屋町一二	大津 二六二	京都 一八〇三三
京都	京都府	京都市中京區河原町通六角南	京都 二三五五	京都 二〇〇二八
大阪	大阪府	大阪市西區土佐堀船町六	土佐堀 七二六、八二六	大阪 五七五六一
神戸	兵庫縣	神戸市神戸區榮町五ノ一一	神戸 六七〇	神戸 九四七
奈良	奈良縣	奈良市橋本町三六	奈良 二二四、二二五	東京 四〇一七
和歌山	和歌山縣	和歌山市新通一ノ二九	和歌山 一六四	大阪 六二
鳥取	鳥取縣	鳥取市片原二ノ三六	鳥取 二二	大阪 九〇三九
松江	島根縣	松江市殿町六三	松江 二二六	大阪 五三四八四
岡山	岡山縣	岡山市上石井一八四	岡山 二八四〇	岡山 二八六
廣島	廣島縣	廣島市比治山町二	廣島中 四四二、四四三	廣島 五八五四
山口	山口縣	山口市中市七	山口 二六六、二六七	下關 一八八八八
德島	德島縣	德島市中通町一ノ三七	德島 二二二〇	德島 二九二
高松	香川縣	高松市西ノ丸町一	高松 二二四五	大阪 二八七八八
松山	愛媛縣	松山市湊町三ノ四八	松山 二二四	大阪 一六七八
高知	高知縣	高知市升形町九日新館內	高知 二三八、二三九	大阪 五八二四一
福岡	福岡縣	福岡市奉吉町七橋三五	福岡西 四六八一	福岡 一九八四一
佐賀	佐賀縣	佐賀縣教育課內	佐賀	福岡 二五〇八八
長崎	長崎縣	長崎市榮町二ノ一〇	長崎 二四二	長崎 一六一九
熊本	熊本縣	熊本市紺屋今町七	熊本 八〇三	熊本 二二一
大分	大分縣	大分縣廳大分縣町村長會內	大分 九三二	下關 九二二〇
宮崎	宮崎縣	宮崎市別府町二四	宮崎 二二四	鹿兒島 七五八二
鹿兒島	鹿兒島縣	鹿兒島市易居町二	鹿兒島 一六八一	鹿兒島 五三〇六
那覇	沖繩縣	那覇市通堂町一ノ四六	那覇 八六六	鹿兒島 五五四四
樺太	樺太	樺太廳內大通南六ノ一	樺太 二二二	樺太 五〇
京城	朝鮮	京城府長谷川町九三	本局 四四一六	京城 二八八八六
臺灣	臺灣	臺北市榊山町一八	臺北 九六六〇	臺灣 七九九
新京	滿洲國、關東州及び臺灣	滿洲國新京特別市順大通五三二號	二 一六三	新京 二二二九
上海	中支、南支及び香港	上海北四川路八三九號	上海 四六八一、四六九一	福岡 四二七二一
南方	海洋諸島、南洋諸島、ボルネオ、マライ、フリピン、ビルマ、ジャワ及ボルネオ諸島內	東京市神田區淡路町二ノ九 日本出版配給株式會社	九段 自二二一 至二二九	東京 一七三五九

寫眞週報（藝轉載）

昭和十八年六月十六日印刷發行
編輯兼發行人　情報局
東京市麻布區本田町
印刷人　内閣印刷局
東京市麻布區笄町

定價
一部十錢（送料一錢）
（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）
●特大號の場合は其の都度御標示金より差額を申受けます

申込所
全國各地官報販賣所
書店・賣店
新聞販賣店
寫眞材料店

本誌を回覽に
本誌を、隣組や職場で回覽するなど出來るだけ有効に御利用下さい

前線慰問にも
またお詰みになつたら本誌を前線慰問に送りませう　送料は内地と同様で帯封にして第三種と明記すれば一部一錢です

本誌の入手はさき大の書店

内閣印刷局印刷發行